

- 問1 2017年の統計において、鉄鉱石の輸入量のシェアが世界全体の68.2%に達し、2位の日本（8.0%）を大きく引き離して世界最大となっている国と、その背景として正しい説明はどれですか。（2021年 京都府公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. オーストラリア — 自国に鉄鉱石が全く存在しないため、ブラジルなどから大量に輸入して工業製品を製造しているため。 | 2. 日本 — 高度経済成長期以降、現在も鉄鉱石の輸入量が中国を上回るペースで増え続けているため。 | 3. 中国 — 急速な工業化や都市開発にともない、鋼鉄の原料となる資源の需要が爆発的に増加したため。 | 4. 中国 — 資源の輸出量でも世界最大を目指しており、輸入した鉄鉱石をそのまま他国へ転売する中継貿易が盛んなため。 |
|---|---|--|--|
- 問2 ベトナムやタイなどの東南アジア諸国における、近年の産業の特色や変化について述べた文として、正しいものを選択してください。（2018年 岩手県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 政府が工業団地を整備して外国企業を誘致したことで、電気機械などの生産が盛んになった。 | 2. 天然ゴムや木材の輸出額が急増したため、工業化を中止して農林業中心の社会へ戻った。 | 3. 豊富な石油資源の輸出に頼るモノカルチャー経済から脱却するため、IT産業に特化した。 | 4. 内陸部にコールセンターを集積させることで、英語を公用語とする強みを活かしたIT都市を建設した。 |
|---|---|--|--|
- 問3 2012年の世界の穀物生産量は約25.66億トンでした。このうち、中国の穀物生産量は5億トンを超え、世界全体の約21%を占めています。この統計において、中国に次いで生産量が多い上位2か国（2位と3位）の組み合わせとして正しいものを、次のうちから選びなさい。（2016年 千葉県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 1. インドとフランス | 2. アメリカとロシア | 3. ブラジルとカナダ | 4. アメリカとインド |
|-------------|-------------|-------------|-------------|
- 問4 南アジアに位置するインドでは、近年、ソフトウェア開発などの情報技術（IT）産業が目覚ましい発展を遂げています。この背景にある社会的・歴史的な要因について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2020年 山形県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 政府がカースト制度の身分ごとに従事できるIT分野を細かく指定したことで、効率的な分業体制が確立された。 | 2. ASEAN（東南アジア諸国連合）への加盟を機に、身分制度に関係なく自由に就職できる労働環境が周辺諸国から導入された。 | 3. IT産業は比較的新しい産業であるため、カースト制度などの伝統的な身分制度による職業選択の制約を直接受けにくかった。 | 4. 古くからの身分制度を完全に廃止し、全人口が平等に高度な情報教育を受けるための法整備が19世紀中に完了していた。 |
|--|---|--|--|
- 問5 1985年から2015年にかけての世界の自動車生産台数の推移をまとめた統計において、日本と韓国の生産状況を正しく説明しているものはどれですか。（2021年 三重県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. アジア諸国の自動車生産は1980年代をピークに一斉に減少に転じており、日本も韓国も当時の半分以下の水準まで衰退した。 | 2. 日本は1980年代から生産台数が右肩下がりに減少し、2015年には韓国の生産台数が日本を逆転した。 | 3. 日本は年間約1000万台前後の高い水準を維持し続け、韓国は1980年代以降の急速な経済発展により約450万台まで生産台数を伸ばした。 | 4. 韓国は1980年代から生産台数が停滞しているが、日本は北米市場への輸出激増により2015年に3000万台を突破した。 |
|---|--|---|---|
- 問6 インドの産業について、2018年の工業出荷額の統計に基づいた特徴を述べた文として、正しいものはどれですか。周辺のパキスタンやスリランカでは繊維工業や食料品工業の割合が比較的高いことと比較して考えてください。（2024年 宮城県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. インドは周辺諸国に比べて工業出荷額が極めて大きく、石油製品や機械などの重化学工業が発展している。 | 2. インドは工業出荷額においてスリランカに劣るものの、機械工業の割合だけは周辺国より高い。 | 3. インドでは食料品工業が工業出荷額の過半数を占めており、重化学工業の育成は遅れている。 | 4. インドの工業出荷額は周辺諸国と同水準であるが、繊維工業の割合が最も高い点が特徴である。 |
|---|--|---|--|
- 問7 東南アジアにおける宗教の広がりについて、インドネシアやマレーシアなど、主に南側の島々（島嶼部）で最も多くの人々が信仰している宗教はどれか。（2018年 北海道公立入試 類似）
- | | | | |
|----------|-----------|-------|----------|
| 1. キリスト教 | 2. ヒンドゥー教 | 3. 仏教 | 4. イスラム教 |
|----------|-----------|-------|----------|
- 問8 特定の資源や農作物の輸出に依存する「モノカルチャー経済」が抱える課題について、経済的な背景から説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2025年 長野県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 国内の様々な産業がバランスよく成長するため、特定の品目の輸出を制限する必要が生じる。 | 2. 政府が全ての生産活動を管理するため、自由な企業活動が制限され経済が停滞する。 | 3. 国際価格の下落によって国家全体の収入が大きく変動し、経済が不安定になりやすい。 | 4. 先進国からの投資が特定の工業製品に集中するため、原料となる農産物が不足する。 |
|---|---|--|---|
- 問9 東南アジアに位置するベトナムにおいて、世界的な生産シェアが高く、同国の経済を支える重要な輸出品となっている農産物の組み合わせとして、正しいものはどれですか。（2026年 山形県公立入試 類似）
- | | | | |
|------------|-------------|---------|-----------|
| 1. 米とコーヒー豆 | 2. 小麦とコーヒー豆 | 3. 小麦と茶 | 4. 米と天然ゴム |
|------------|-------------|---------|-----------|
- 問10 東南アジアのタイなどで見られる仏教の宗教生活の特徴について、その背景や人々との関わりを説明した文章として最も適切なものを、次のうちから1つ選びなさい。（2026年 宮城県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 1日5回のお祈りやラマダーン（断食月）の義務を果たすことが、生活の中心となっている。 | 2. 身分制度と深く結びついており、特定の聖なる川での沐浴が重要な儀礼となっている。 | 3. 人々の日常的な信仰心に基づいて僧侶への喜捨が行われ、寺院が地域社会の信仰の中心となっている。 | 4. 毎週決まった曜日に教会へ集まり、一神教の教えに基づいて聖書を学ぶことが生活の中心となっている。 |
|---|--|---|--|
- 問11 世界全体の農産物生産量を示すデータにおいて、アジア州が約9割近くを占める「米」や「茶」のほかに、東南アジアなどでプランテーション（大規模農園）を中心に栽培され、世界生産の多くを占めている作物はどれですか。（2025年 秋田県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|--------|---------|---------|
| 1. オリーブ | 2. ブドウ | 3. 天然ゴム | 4. てんさい |
|---------|--------|---------|---------|
- 問12 ベトナムの輸出構造の変化について、2001年には輸出総額の約5.5%に過ぎなかったものの、2018年には40.4%に達し、第一位の輸出品目となった製品群として正しいものを、次のうちから選んでください。（2021年 兵庫県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|-------|--------|----------|
| 1. 果実類 | 2. 鉄鋼 | 3. 機械類 | 4. 衣類・履物 |
|--------|-------|--------|----------|
- 問13 インドで最も多くの人々に信仰されているヒンドゥー教に関連して、その文化的な特徴や生活習慣について述べた文として、正しいものはどれですか。（2020年 岡山県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------------------------------|---------------------------------------|----------------------------------|-------------------------------|
| 1. 牛を神聖な動物として尊ぶため、牛肉を食べない習慣がある。 | 2. カースト制度による差別に反対して、インドから東南アジアへと広まった。 | 3. 偶像崇拝が厳しく禁止されており、寺院には神像が置かれない。 | 4. ラマダン（断食月）には、日中の飲食を断つ修行を行う。 |
|---------------------------------|---------------------------------------|----------------------------------|-------------------------------|